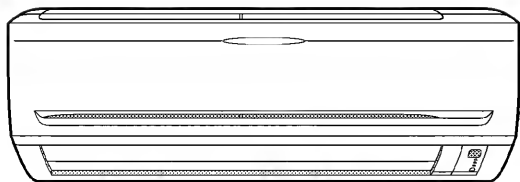


DAIKIN

ダイキンエアコン

取扱説明書



STREAMER

機種名(総称名)

エス エムディーイーエス

S28MTES-W (C)

エス エムディーイーエス

S36MTES-W (C)

ご愛用者アンケートにぜひご協力ください。
今後のよりよい商品開発のため WEB 上でアンケートを実施しています。

ダイキンエアコンホームページ
<https://www.cs.daikinaircon.com/>

- このたびはダイキンルームエアコンをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
▶4, 5ページ
- お読みになった後はいつでもご覧になれるよう、お手元に保管してください。
- 保証書は必ずお買い上げ日、販売店名などの記入を確かめて、大切に保管してください。

エアコンを使いこなして 一年中 快適に過ごそう



エアコンに運転を
おまかせしたい

エコ自動運転 ▶8, 9ページ

室内・屋外温度に応じて、自動で最適な温度と
運転モードを選び、快適性と省エネを両立します。



タイマー運転を
活用したい

タイマー運転 ▶10, 11ページ

停止するまでの時間、および
運転するまでの時間が設定できます。



体に風があたらない
ようにしたい

風ないス運転 ▶10ページ

風向と風量を調節して、
風が直接体にあたりにくくします。



快適に眠りたい

快眠運転 ▶10ページ

体に自然なゆらぎの温度で心地よい眠りを
誘います。



「ストリーマ」とは…

プラズマ放電の一種である「ストリーマ放電」によって酸化分解力の強い高速電子をエアコン内に生成させ、光触媒集塵・脱臭フィルターで捕獲したウイルス※1やアレル物質※2をすばやく抑制・除去する機能です。(高速電子は、本体内で発生しますので安全です)

※1 試験機関：(財)日本食品分析センター
試験方法：ウイルスにストリーマを照射
試験結果：99.9%以上抑制

※2 試験機関：和歌山県立医科大学
試験方法：アレル物質にストリーマを照射
試験結果：99.6%以上除去

運転中にストリーマ放電の「シュー」という音がしますが異常ではありません。

また、ご使用環境により、音が小さくなったり、音質が変わることがありますが、異常ではありません。ストリーマ放電により微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。



**お部屋の空気を
きれいにしたい**

ストリーマ空気清浄運転

▶10, 11ページ

ストリーマ放電の分解力で
ウイルスやイヤなニオイを抑え、
お部屋の空気をきれいにします。
送風運転としてもお使いいただけます。



**エアコンを
清潔に保ちたい**

内部クリーン運転

▶10, 11ページ

エアコン内部を乾燥させ、
さらにストリーマ放電の分解力で、
カビやニオイの発生を抑えます。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
各部の名前と働き	6
運転前の準備	7

運転のしかた

運転のしかた (運転/停止、エコ自動運転、 運転切換、温度調節、風量調節、風向調節、 サインリセット)	8
運転のしかた (風ないス運転、快眠運転、 ストリーマ空気清浄運転、内部クリーン運転、 タイマー運転)	10

お手入れ

お手入れのしかた	12
●お手入れ早見表	
●前面パネルの取外し・取付け	
●エアフィルター/ストリーマユニット/ 光触媒集塵・脱臭フィルターの取外し・取付け	
●ストリーマユニットの分解と組立て	

必要なときに

こんなときは	14
●日常の点検について	
●長期間使わないとき	
●運転中に停電になったら	
●雷がなり始めたら	
●運転ランプが点滅するとき	
故障かな?と思ったら	15
仕様	17
保証とアフターサービス	18
●据付場所について	
●別売品について	
お客様ご相談窓口/長期使用製品安全 表示制度に基づく本体表示について	19
よくあるご質問	裏表紙

必ずお守り
ください

安全上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みにになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して、誤った取扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



注意

「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。



「してはいけないこと」を表しています。



「しなければならないこと」を表しています。



火災や感電、
大けがを防ぐために
お守りください。



警告

※電源プラグの有る機種の場合

電源プラグやコードは



禁止

- 運転中にプラグを抜かない。※
(感電や放電による火災の原因)
- 電源コードを持って抜かない。※
(断線による、発熱や発火の原因)
- ぬれた手でプラグの抜き差しや操作はしない。※
(感電の原因)
- 途中で接続したり、延長コードの
使用、タコ足配線をしない。
(感電や発熱、火災の原因)
- 破損させたり、加工したり、傷んだまま、
束ねたままでの使用はしない。
(感電や火災の原因)



必ず実施

- プラグは根元まで確実に差し込む。※
(接触不良による感電や火災の原因)
- 定期的にプラグのホコリを
乾いた布でふき取る。※
(湿気などで絶縁不良となり、
発熱や発火、火災の原因)



異常・故障時には直ちに使用を中止する



必ず実施

異常・故障例

- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- 電源プラグが変色している。
- こげ臭いニオイがする。
- ブレーカーがひんぱんに落ちる。
- 室内ユニットから水が漏れる。

(異常のまま運転を続けると故障や感電、
発煙、火災などの原因)

すぐに運転を停止し、電源プラグを抜くか、ブレー
カーを切ってお買い上げの販売店またはダイキン
お客様相談窓口にご相談ください。▶19ページ

電源プラグ



注意

室内ユニットは



禁止

- 動植物に直接風をあてない。
(動植物に悪影響を及ぼす原因)
- 精密機器や食品、美術品の保存、
動植物の飼育や
栽培などに使わない。
(品質低下などの原因)

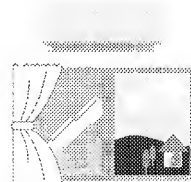


- ユニットの下に、他の電気製品や
家財などを置かない。
(水滴が落ちて、汚損や故障の原因)



必ず実施

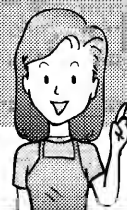
- 燃焼器具と一緒に
運転するときは、
こまめに換気する。
(酸素不足による頭痛など
の原因)



- 燃焼器具は、風が直接あたらない
場所で使用する。
(不完全燃焼の原因)

- 乳幼児の手の届くところにリモコンを置かない。
(誤操作による体調悪化や電池誤飲の原因)

漏電やけがを防ぎ、家財などを
守るためにお守りください。



⚠ 警告

ご使用時は



禁止

- 吸込口や吹出口に指や棒などを入れない。
(けがの原因)
- 長時間冷風を体に直接あてない、冷やし過ぎない。
おやすみのときなど、長時間、冷風を体に直接あてたり、冷やし過ぎたりしない。(体調を崩す原因)
特にお子様や高齢者にはご注意ください。
- 可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)
は本体の近くで使用しない。
(感電や引火の原因)
- 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では使用しない。
(引火や本体への吸引による発火や発煙の原因)

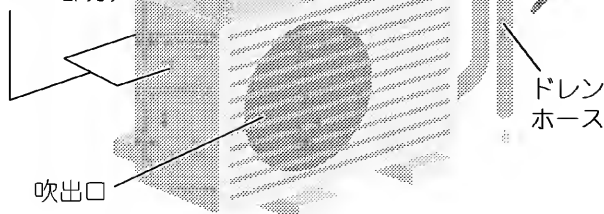
据付け・移設・修理時は



必ず実施

- エアコンの据付けや移動、修理、再設置は必ず
お買い上げの販売店または専門業者に依頼する。
(感電や火災などの原因)
- アースや漏電しゃ断器が設置されている
ことを確認する。
(感電や火災などの原因)
- 必ずエアコン専用の電源コンセントを使う。
(他の機器と併用すると、発熱による火災の原因)
- 冷えない、暖まらない場合は、冷媒漏れが
原因の一つと考えられるので、お買い上げ
の販売店に相談する。
冷媒追加を伴う修理の場合は、冷媒漏れがない
ことをサービスマンに確認してください。
(冷媒は安全で、通常は漏れませんが、万一室内
に漏れ、ファンヒーターやコンロなどの火気に
触れると、有害な生成物発生の原因となります)
- 可燃性ガスの漏れるおそれのある場所に
設置されていないか確認する。
(万一ガスが漏れると、発火の原因)
- ドレンホースが確実に排水するように
配管されているか確認する。
(不確実な場合、家財などをぬらす原因)

吸込口
(アルミ部分)



吹出口

ドレン
ホース

⚠ 警告

お手入れ時は



禁止

- お客様自身で、工具を使った分解掃除や、
改造、内部の洗浄はしない。
(水漏れや破損、故障、発煙、発火の原因)

⚠ 注意

お手入れ時は



禁止

- 不安定な台に乗らない。
(転倒など、けがの原因)
- ユニットのアルミ部分に触らない。
(手を切る原因)
- エアコンを水洗いしたり、花瓶など
水の入った容器を載せたりしない。
(感電や発火の原因)
- 必ず運転を停止し、電源プラグを抜くか、
ブレーカーを切る。
(ファンが高速回転しているため、けがの原因)



必ず実施

室外ユニットは



禁止

- ユニットの
アルミ部分に触らない。
(手を切る原因)
- ユニットの上に乗ったり、
物を載せたりしない。
(ベランダなどの高い場所に
設置の場合、転落の原因)
- 据付台が破損したまま、
放置しない。
(落下につながり、けがなど
の原因)
- ユニットの周辺に、物を置いたり、
落ち葉がたまらないようにする。
(虫などが侵入し、故障や発火、発煙の原因)



必ず実施

長期間使用しないときは



必ず実施

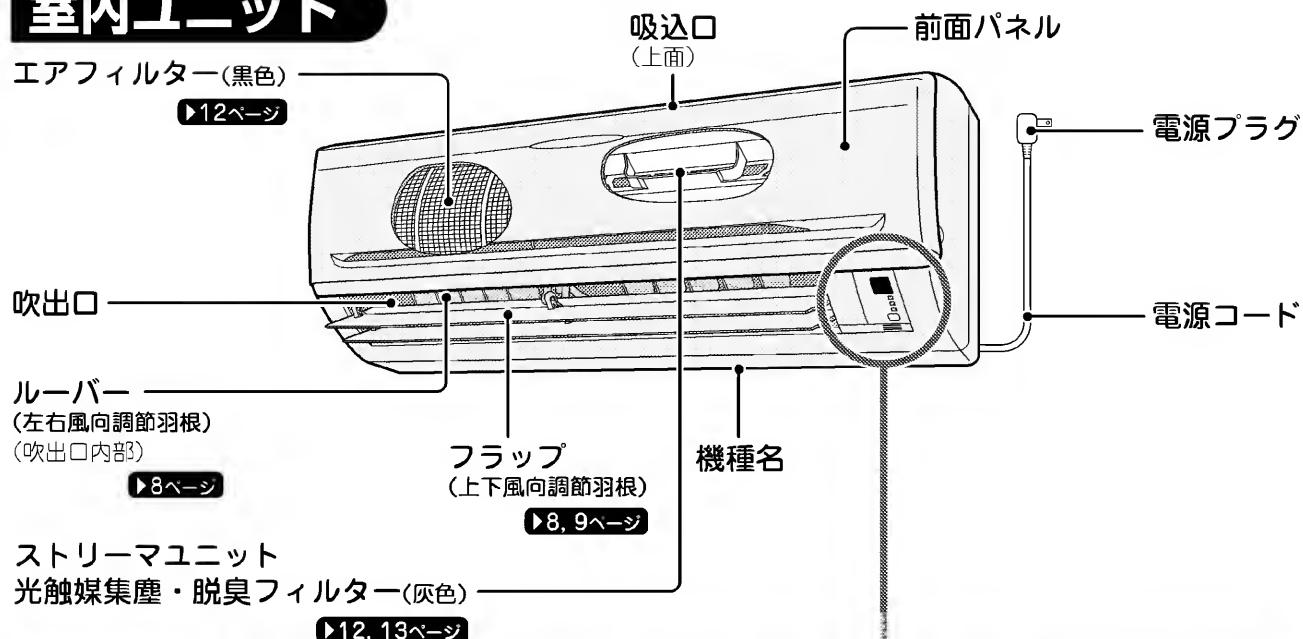
- 電源プラグを抜く。
(ホコリがたまると、発熱、発火の原因)

ストリーマ放電について

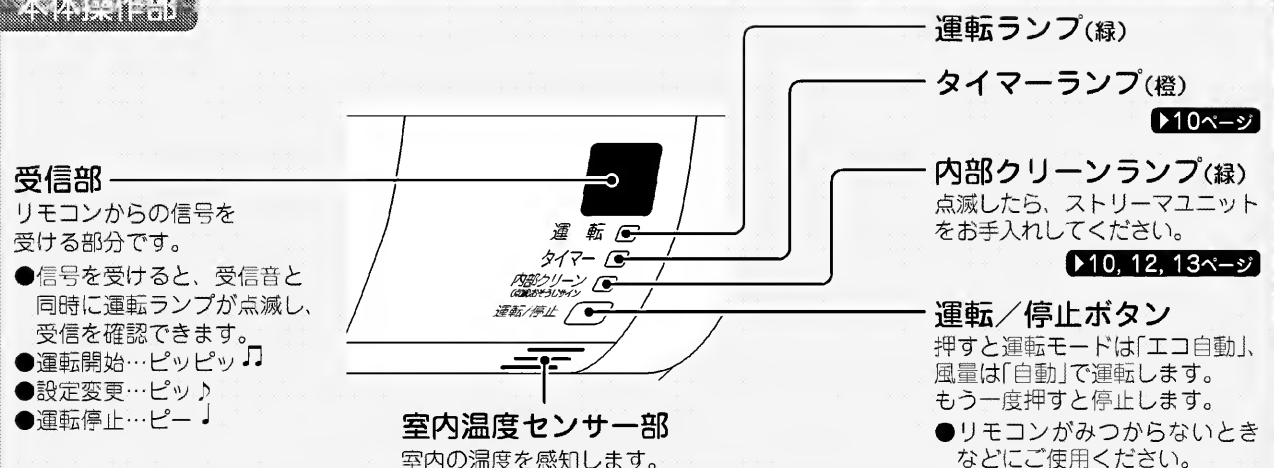
- 微量のオゾンが発生するため、吹出口からニオイがすることがありますが、ごくわずかであり、健康に支障はありません。

各部の名前と働き

室内ユニット



本体操作部



室外ユニット

